



2026年1月30日
第135号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第11号

「横浜線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ (その2・営業)【全11項目】団体交渉を行う！④

9. 相模線および八高線の乗り換え接続案内について、車両の各ドア付近に時刻表を掲載すること。また、列車遅延時で接続時間僅少の場合は指令が接続可否について判断し、接続可否について指令による肉声放送を実施すること。
【会社回答】車両に時刻表を掲載する考えはない。なお、状況に応じて様々なツールを活用し、情報提供を行っていく考えである。また、線区の特情等を踏まえて、必要な対応は実施していく。

組合

会社

車内ドア付近にある広告枠を活用し、そこに相模線および八高線の時刻表を掲載することはできないのか。

広告収入の関係があるので難しい。

列車遅延時を含む接続時間僅少の場合は指令が接続可否について判断し、接続可否について指令による肉声放送を実施すること。

指令による肉声放送は難しい。

接続判断については、南武線と同様に指令の方で状況を見て判断することとなる。 ※接続判断についてのみ確認

乗り換え時間僅少時および列車遅延時は乗り換え接続が取れない場合がある旨の周知と、ゆとりをもってご利用いただくような啓発を行うこと。

PTの中でも議論しているが、過去に駅でもご案内してきた認識はある。

10. 冬季におけるホームドアの凍結防止対策を講じること。具体的には、八王子支社管内を含む橋本以遠の朝露凍結によるホームドア稼働不良防止対策を講じること。

【会社回答】凍結防止運転操作マニュアルに則り取り扱うこととなる。また、引き続き八王子支社と連携していく考えである。

組合

会社

回答に示されている凍結防止運転操作マニュアルは、こういった内容なのか示すこと。

終電後に駅でモード設定を行う。凍結が見込まれる場合、対策本部が立ち上がっている場合はそこから駅へ連絡が行く。対策本部が立ち上がっていない場合で凍結が見込まれる時は、モビサ駅指導から駅へ連絡が行って対応することとなる。 **確認**

1月2日夜の降雪により、八王子支社管内ではあるが翌日1月3日早朝に八王子みなみ野駅と片倉駅で、凍結によるホームドア稼働不良によりダイヤ乱れが発生した。ホームドアの凍結防止対策について、考えていることがあれば示すこと。

当日は対策本部が立ち上がっておらず、天候も雨だったため凍結に至らないと判断していた。初電前のホームドア開閉試験は良好であったが、開閉試験以降に凍結して稼働不良を起こしたため、フローを追加した。

寒波等が見込まれる場合は予め要員を派遣して対応できるように対策を講じること。また、八王子支社へも要請すること。

八王子支社に伝えていく。

委託駅への対応はどのようになるのか。

支社からJESSの支店に連絡し、支店から委託駅へ連絡する体制となる。

11. 東神奈川駅・小机駅・橋本駅における出区および磯子駅折り返し引き上げ線からのホーム据え付けの際、停止位置を僅かに行き過ぎた場合または手前に停車した場合で、誘導による停止位置修正の取り扱いについての教育を徹底すること。

【会社回答】ワンマン運転に向けた必要な教育・訓練を実施していく。

組合

会社

ワンマン運転開始により車掌がいなくなるため、駅社員による誘導が必要になる。有資格者を配置し、確実に誘導を行える体制とすること。また、駅社員への教育を徹底すること。

手前に停車した場合は誘導が不要、行き過ぎた場合は駅社員による誘導が必要となる。 **確認**

小机駅電留線からの出区で、平日547Kおよび休日513Kのホーム据え付け時における停止位置修正が必要となった場合の具体的な対応を示すこと。

指令から駅に連絡し、対応することとなる。 **確認**

誘導が必要となる場合がある箇所において、無資格の社員が対応するといったことがないようにすること。

そのようなことがないように体制となっている。 **確認**

全11項目終了！乗降終了表示の掲出については認識が合わず、今後関係分会と連携を図りながら検証を積み重ねていきます！